



第1回 畑の学校開講 女性部能代支部

畑の学校が16日能代市農業技術センターで開講されました。これは女性部（佐々木博子女性部長）能代支部の部員を対象に昨年から開催されており、今年度第1回目は、能代市農業技術センターの佐々木由紀子氏を講師に招き「野菜苗等の定植」をテーマに、参加した11名の受講者は自らも栽培しているトマトやキュウリ、オクラなどの作物の適正な栽培方法を勉強しました。

講義ではこれまで野菜作りに取り組んできたベテランの受講者達からも「あ～なるほど」「だから、いつも失敗していたのか～」等と会場内から声が漏れ聞こえ、農家目線で分かりやすい講師の説明にガッテンした様子でした。質疑の時間にはより詳細な栽培管理方法を学ぼうとたくさん質問が飛び交いました。参加した受講者は「トマト、オクラをこれから定植する予定。これまで独学で栽培していたので、今日学んだことを早速帰ってから試してみたい」と話してくれました。



丁寧に解説する
佐々木由紀子講師

熱心に学ぶ
能代支部のみなさん

講義終了後、「特定施設サ高住 白神憩の郷」の畑に会場を移し白神憩の郷の入居者も見守る中、

実技として各班に別れ黒マルチを敷く作業から、ナスやインゲン、キュウリなど11種もの野菜苗等を定植しました。この実技については、さすがはベテラン受講者の皆さん。鍬さばき等の手際良さに講師も感服した様子でした。

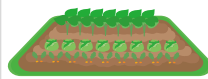
主催した佐々木博子部長は「畑の学校では、他の地域に住む女性部員個々が、それぞれの工夫した栽培方法、知恵をもっている。それらを参考にするための情報交換、交流の場となってもらいたい。」と話してくれました。畑の学校は今年度残り2回開催を計画しております。女性部能代支部では多数のご参加をお待ちしております。



見よこの鍬さばき!!



最後は丁寧に野菜苗を定植



食農教育活動 ～女性部藤里支部 児童に野菜苗定植を手ほどき～



藤里支部では、5月23日藤里小学校の食農教育の一環で開催された、さつまいもや枝豆等の植え付けを行う農園活動に、祖父母らで構成される地域畑サポーターとして児童にやさしく丁寧に植え付けの方法を教えました。

参加した6年生は「小学校生活最後の苗植えを上手に植えることが出来ました。これから水やりなどお世話を頑張ります。」と話してくれました。中には「早く大きなさつまいもを食べたいです。」とちょっと気の早い児童も…

藤里小学校の学校農園は終始、児童と地域畑サポーターの楽しい雰囲気になっていました。

